

阪神間の象徴 甲山が街から見えない 甲山の話に三度ビックリ



西宮市街地から甲山を望む甲山から 上の原 水源地・関学から阪神間の市街地を望む 2004.12.8.

もう何十年ぶりか 西宮から甲山山麓を WALK 甲山に登ってきました。

「甲山」六甲山系の東の端にこんもりとお碗型をした小さな山がある。

阪神間で育った人たちでは誰でも知っている山で 何度か遠足にピクニックに また幼い時の冒険の地でもあった。尼崎で育った私には 六甲連山を背後に朝な夕なに眺め、一番親しい山である。

でも 歩いてみて、その変貌にビックリ。 私らの知っている「甲山」からはまったく違っていましたが、昔を楽しみながらの気楽な WALK でした。

その1 甲山はトロイデ(鐘状)火山でなく 噴火でできたコニーデ火山の核心部

「甲山は噴火せず、ねばいマグマが盛り上げてできた山」それは間違いと



六甲山系の東端 甲山

『 標高 309m トロイデ型・鐘状(しょうじょう)火山でネバネバした溶岩が地下からゆっくと上昇してきて、まわりに流れずに盛り上げて釣り鐘状に固まった火山。 』

そう習って 今の今までそう思っていました、最近の研究でどうも違うらしい。

甲山は1300万年以上前に噴火した火山の火道をつくる安山岩が、まわりの花崗岩より風化に強いので、長年の浸食で取り残されてできた山だという。

私らの年代の人はみな 「火山が噴火せず、こんもりと盛り上げてできたトロイデ型火山」とみんな思っています。 やっぱり、長いこと行かないと山まで変わってしまう。「ほんま 知らなんだ」とビックリです。

その2 阪神間で街から甲山を眺めながらの WALK を楽しめる道はもう消えた

久しぶりに 何度か西宮界限に行って、街からほとんど甲山がマンションなどによって隠れて、見えなくなっているのに突然気がついた。ビックリ。もう街からはほとんど見えない。

おそらく もっと 東で海岸に近い尼崎からはもうほとんど見えないだろう。

子供の頃は 家の横から 甲山が見え、甲山向いて歩けば、武庫川の土手で 土手から川を渡れば、西宮。そして、甲山・仁川である。ずっと 尼崎を離れ、神戸に移ってから毎日通勤した阪神間である。まったく、意識になかったのですが、気がついてみると、阪神間では WAL を楽しみながら甲山が見える場所はない。

ちょっと 悔しくなって 意図的に電車に乗って 甲山をみるが・・・

阪急・国鉄・阪神は震災後すべて高架になつたが、やっぱり、マンションの連続で断片的にしか、顔を現さない。

しっかりと見えるのは 阪急宝塚線 そして 千里丘陵を走る北大阪モノレール。

いずれも大阪からである。



阪神間 西宮界隈から見る甲山 2004.12.8.

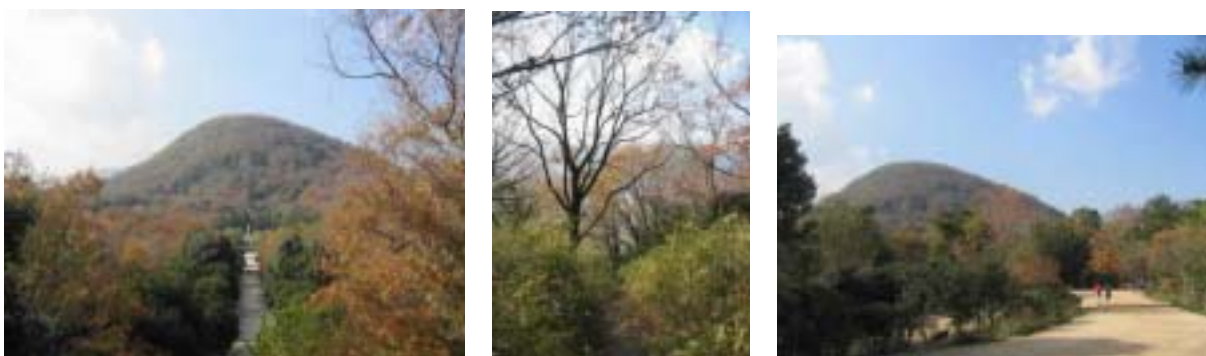
長いこと甲山界隈に行ったことがない。

もう 40 年は優にいったことがないのに気がついて、西宮での用事の終わった午後 西宮のえべつさんのある札場筋から、ぶらぶら。

広田神社を通過して 関学のある上ヶ原にあがって、甲山の森林公園から甲山へ。一時間ほどの WALK である。昔 子供の頃 遠足やなんやかやで よく知っている道・・・と言いながら、ぎっしりと家が建って、もうまったく記憶にない。広田神社は見つけましたが、確かあったはずの満池谷の水源地はよう見つけず。

いつから 甲山に行っていないのだろうか。。。などと考えながら 上ヶ原にあがって、関学・水源地の標識を見てほっとするが、あの畑がずっと続いていた甲東園の台地 上ヶ原の面影はもうなし。

森林植物園の中もよく整備され、すばらしい公園になっていた。今年は暖かく まだ、紅葉が残っている。甲山の麓のお大師さん「神呪寺」から仁川・五ヶ池への道に出たところに開館したばかりという「甲山自然センター」(旧甲山青年の家)に立ち寄って、おばさんと昔話をして甲山へ



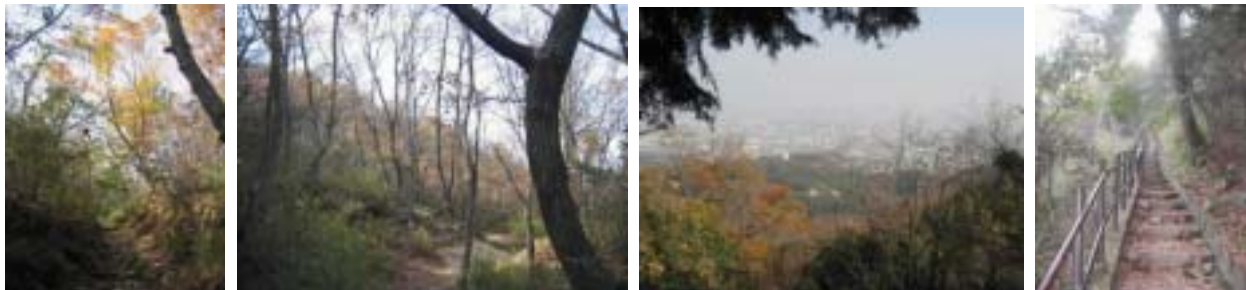
甲山森林植物園から見る甲山 2004.12.8.

その3 あの禿山 直登の甲山が林の山に変貌 数十年の変貌はすごい

街ばかりでなく、山の自然も大きく変化する

もう、何十年も昔 よく行きなれた頃は 甲山 というところではあるが、ブッシュで覆われた禿山。大きな木々はなく、大師道を上ってきて、神呪寺のところから直登で頂上へ登る道。もう 大きな木がないので、暑くて暑くて 立ち止まっては 下界阪神間の景色を眺めながらの登りだったと記憶している。それが、今は木々の間を登る道。上り始めたのは裏側の仁川からですが、表の神呪寺側の道も木々に覆われた林の中を登る道である。本当に以外であった。

戦後 六甲山系の再度山が禿山だったのが、見事植林でよみがえり、緑再生のように言われるが、この甲山もまったく同じである。せっせと植林が続けられたのであろう。当時の禿山からは想像すらできぬ。遅々と進まぬイメージに負けず、こつこつとつづければ、自然は改造できる証拠であろう。現代人は直ぐ ブルドーザで道つけて、若木を買ってきて植え付けて公園化して自然 自然というが…… やっぱり、年輪の積み重ねの重さを感じる。焼畑がやっぱり、数十年の輪で自然をコントロールするという。スピードが支配する時代の中で、物事もせつなでなく、積み重ねの中に重みが出てくることもう気がついて もよいのではないか。。。。。



甲山頂上への山道で 2004.12.8.

30分ほど紅葉の木々の間を抜けて、平らな頂上へ 木々に囲まれた平らな広場のてっぺんに二等三角点があった。360度 下界の展望を期待していたが、広場の周辺の木々に阻まれて展望は利かないが、六甲を背景にのんびり、周りの紅葉を見ながら寝転んでいるにはもってこいの場所

頂上からちよつと下り道に入れば、昔と同様 阪神間の街が広がる大展望は健在。立ち止まっては街を眺めながらの下りで、神呪寺へおいる。ここでも 境内の展望台から 阪神間の大パノラマが楽しめる。



紅葉の甲山頂上 2004.12.8.

【阪神間の大展望】

甲山頂上付近より 阪神間市街地 尼崎・西宮を望む 2004.12.8.
大阪湾

大阪

伊丹 尼崎市街
上ヶ原貯水池・関学

西宮市街
JR 西宮駅





甲山から 上ヶ原台地から西宮市街 一番奥東西に武庫川が流れる 2004.12.8.



甲山から神呪寺へのくだりで 2004.12.8.

ぶらぶらと約3時間ほど西宮市街から 上ヶ原から甲山に登って神呪寺におりて、大師道を下ってまた西宮の街へ
気持ちのよい午後のWALKでした。
でも 毎日通っていて よく知っているつもりが、こんなに変貌している
なんて、驚きでした。

時間の重みを感じながら昔をたどる walk。
おそらく、誰もが持っている故郷の道なのでしょう。
久しぶりに 西宮の市街地に足を踏み入れたとたん 自然と甲山に足を向けていました。
車では絶対に感じられないWALK。おすすめの Country Walk でした。
甲山の散策も気楽でいいですよ ぜひ 一度 街中を歩いてみては・・・



神呪寺 甲山のお大師さん

2004.12.8. 阪神電車から甲山を探しながら

Mutsu Nakanishi